

**SDC-033N**

直流12~48V

【冷房能力】  
0.33kW

DC電源



▶ P.14

**SDC-034N**

直流48V

【冷房能力】  
0.33kW

DC電源



▶ P.14

**SAC-2500C**

単相100V

【冷房能力】  
50Hz 2.2kW  
60Hz 2.5kW

天吊り



▶ P.15

**SAC-25FC**

単相100V

【冷房能力】  
50Hz 2.2kW  
60Hz 2.5kW

フロア



▶ P.15

**MAC-10**

単相100V

【冷房能力】  
50Hz 0.41kW  
60Hz 0.43kW



▶ P.15

**MAC-20N**

単相100V

【冷房能力】  
50Hz 2.0kW  
60Hz 2.3kW

ドレンレス



▶ P.16

**MAC-25N**

単相100V

【冷房能力】  
50Hz 2.6kW  
60Hz 3.0kW

ドレンレス  
上下ルーバー



▶ P.16

型式	自動首振り装置(オートスイング)	電源		電気特性				冷媒	冷媒封入量 (g)	本体質量 (kg)	圧縮機定格出力 (kW)	除湿水処理	電源接続		保護装置				スイッチ			外形 寸法 W×D×H	運転可能条件 (温度℃) (湿度%)					
		相数と電圧 (V)	周波数 (Hz)	冷房能力 (kW)	冷房消費電力 (kW)	冷房エネルギー消費効率	運転電流 (A)						ドレンタンク容量 (L)	電源コード長さ (m)	電源プラグの有無	オーバervolテージリレー	逆相防止リレー	凍結防止	送風機 サーマルプロテクター	ロータリー	シーソー			押ボタン				
SDC-033N	なし	直流 12 24 36 48	-	0.33	0.144	2.29	12.0 5.5 3.5 2.5	R134a	80	11	0.025	1.6	本体側 1.5 バッテリー側 2 高温用直結 3	なし											●	W210 D580 H350 ~390	15℃~40℃ (連結コード使用時) 15℃~45℃ (高温用直結コード使用時)	
SDC-034N	なし	直流 48	-	0.33	0.12	2.75	2.5	R134a	80	11	0.025	1.6	本体側 1.5 バッテリー側 2 高温用直結 3	なし												●	W210 D580 H350 ~390	15℃~40℃ (連結コード使用時) 15℃~45℃ (高温用直結コード使用時)
SAC-2500C	なし	100	50 60	2.2 2.5	0.73 0.93	3.01 2.68	8.0 9.3	R407C	550	35	0.75	-	3.5	あり	●													25℃~45℃
SAC-25FC	なし	100	50 60	2.2 2.5	0.73 0.93	3.01 2.68	8.0 9.3	R407C	550	34	0.75	-	3.5	あり	●													25℃~45℃
MAC-10	なし	100	50 60	0.41 0.43	0.188 0.215	2.18 2.00	2.35 2.46	R134a	105	13	0.145	0.7	1.8	あり	●													20℃~40℃
MAC-20N	なし	100	50 60	2.0 2.3	0.80 0.945	2.50 2.43	9.3 9.7	R410A	378	22	0.71	-	1.8	あり	●										● 初対面	W370 D345 H705	16℃~35℃	
MAC-25N	上下 ルーバー	100	50 60	2.6 3.0	0.88 1.01	2.95 2.97	10.0 10.2	R410A	365	28	0.74 0.87	-	2	あり	●										● 初対面	W415 D345 H710	16℃~40℃	

※周囲温度35℃、相対湿度60%の条件下で運転したときの値です。  
※SDC-033Nはエンジン式車両、SDC-034Nは48V電気式車両専用の商品です。

スポットクーラーの性能表示について

2020年4月からスポットクーラーの性能表示が変わりました。

スポットクーラーはこれまで各社独自の方針に基づいた性能表示をしておりましたが、お客様目線で判断しやすくするために一般社団法人 日本冷凍空調工業会標準規格、JRA4040:1993 JRA4039:1993を2018年12月に近年の使用実態に合わせて統合し、JRA4040:2018に規格が改訂されました。これを受け、JRA4040:2018の評価に基づく新しい性能表示が始まりました。

主な規格変更点は以下の通りです。

① 定格冷房能力の試験条件について

JRA4040:2018では、近年、室内の作業環境が悪化している背景を受け、一体形の定格冷房能力試験条件を従来の「35.0℃DB/28.5℃WB」から「37.0℃DB/30.0℃WB」に引き上げました。これに伴い、従来の能力表記が変わりました。

<JRA4040:2018に基づいた定格冷房能力試験条件>

項目	改定前	改定後
吸込空気温度 乾球温度	35.0℃DB	→ 37.0℃DB
吸込空気温度 湿球温度	28.5℃WB	→ 30.0℃WB

② 定格冷房能力および定格冷房消費電力の許容差について

日本冷凍空調工業会の方針に則り、定格冷房能力および定格冷房消費電力の許容差が見直されることとなりました。これに伴い、従来の能力表記が変わりました。

定格冷房能力: 100%以上

定格冷房消費電力: 105%以下

③ 定格冷房エネルギー消費効率の表示について

冷房性能の1つとして、新たに定格冷房エネルギー消費効率を規定しました。

※SDC-033N、SDC-034N、MAC-10、SAC-2500C、SAC-25FC、MAC-20N、MAC-25Nを除く。